



感染対策シター 第6号

川崎市健康福祉局 感染症対策課 TEL:044-200-2343
Email:40kansen@city.kawasaki.jp

施設内で体調不良者がいたら

早めに嘱託医に相談し必要な検査や治療を開始するとともに、COVID-19を疑い、他の利用者と接触しないよう、居室対応としましょう。

* COVID-19の感染が疑われる人が確認されたとき「やることリスト」を(川崎市ホームページ)で検索してください。

□ 新型コロナウイルス潜伏期間

潜伏期間とは感染した日から何らかの症状が出現するまでの期間を指す。1~14日と幅があり、多くの方がおよそ4~5日で発症する。

□ いつまで感染性があるのか？

軽症~中等症の患者は、発症後10日以上は感染性を持たない。重症~重篤の患者または重篤な免疫疾患のある患者は、発症後20日まで感染性がある可能性がある。* 令和3年3月5日 厚生労働省事務連絡[退院患者の介護施設における適切な受入等について(一部改正)]をご確認ください。

□ 無症状の感染者

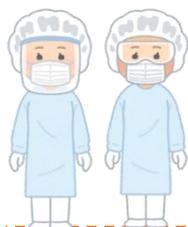
感染しても無症状の人が約40~45%いると言われている。

□ 濃厚接触者

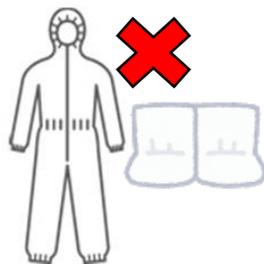
潜伏期間が過ぎるまで感染の有無は不明であり、1回の検査で陰性でも対策や健康観察は継続が必要。

COVID-19 どの防護具を着用する？

<陽性者または体調不良者+濃厚接触者>



- ・サージカルマスク
- ・フェイスシールドまたはゴーグル
- ・ガウン
- ・手袋
- ・キャップ



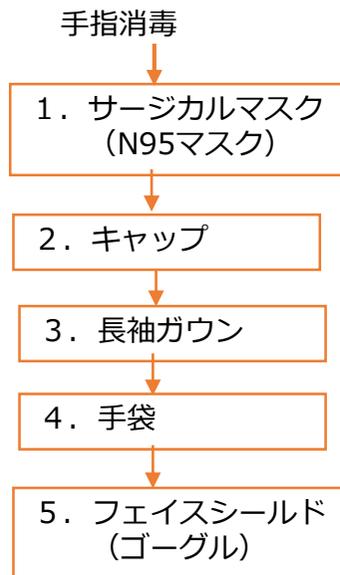
★N95マスクが必要な場面★

- ・エアロゾルが生じる手技時
- ・食事介助時や口腔ケア時
- ・咳がある、マスクを着用できない利用者のケア時

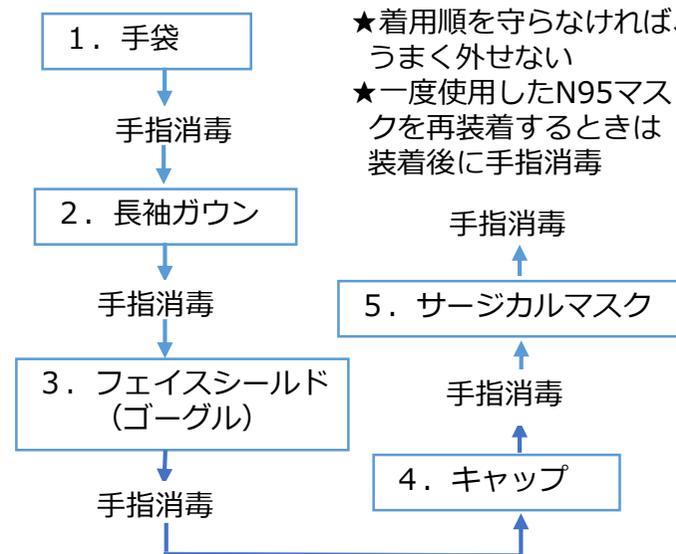
★つなぎとシューズカバーは不要★

つなぎは、脱ぎ方が難しく、一人で脱ぐのは困難であり、コストも高い。シューズカバーは、血液や体液で靴が汚染する可能性がある場合に着用。

《着けるとき》



《外すとき》



外すときのポイント

使用した手袋の外側(表面)、ガウンの外側(前面)、マスクの表面、フェイスシールドの外側(前面)は汚染面です。

- 汚染面に触れないように脱ぎます。
- 脱いだ後にアルコール手指消毒を頻回に実施することが最も効果的な感染対策です。
- 感染リスクは、個人防護具を脱ぐ際!

誤解のあれこれ

- ・ **手袋を2重にして1枚目のみ外して再使用する**
脱ぐ際に汚染するリスクがあり、手袋は100%でないため過信しないでください。
- ・ **アルコールを手袋やガウンに噴霧**
消毒剤の触れる箇所にムラができ、十分な効果は得られない。手袋の上からのアルコールも消毒の保証がなく、手袋が破損する危険があります。
- ・ **いつでもどこでもN95マスク**
装着前にフィットテストで自身の顔型にフィットしたN95マスクを選び、さらに毎回装着したらフィットチェックを行います。どこでもつけっぱなしでは、フィットが低下しN95マスクの効果が得られません。
- ・ **ガウンを再使用する**
一度使用したガウンを保管して、再使用したり、他の入所者に使用してはいけません。